

暮らし第一”へ反撃広げる

2015年
内政展望

2015年は、安倍政権による民意無視の暴走政治への怒りが広がるなか、大企業優先から国民の暮らし第一への転換を求めるたたかいの年となります。（深山直人）

△ △
安倍政権の経済政策「アベノミクス」によって「企業の収益が上がり、賃金にも回る」（安倍晋三首相）どころか、貧富の格差がいつそう拡大し、景気回復につながっていません。

大幅賃上げ必要

勤労者の実質賃金は17カ月連続で前年を下回り、雇用も増えたのはパートや派遣など非正規雇用が中心で、非正規雇用は2000万人を突破しました。

消費税増税や円安による物価上昇のもとで大幅賃上げは待たなしです。大企業が空前の収益をあげ、内部留保が過去最高の285兆円にのぼるなか、大幅賃上げを実現する条件は十分にありま

と。ところが安倍政権は大企業にさらに法人税減税をばらまき一方、「生涯ハケン」「正社員ゼロ」を進める労働者派遣法の改悪、「残業代ゼロ」制度を導入し、「賃下げ」政策を進めようとしています。これではますます消費が冷え込み、景気回復に逆行するだけです。

補正予算に盛り込む経済対策は「個人消費のてこ入れ」「地方経済

謹賀新年

今年もよろしく
今年もよろしく
今年もよろしく



上げ」を掲げるものの、商店街向けの商品券発行や少子化対策向けの交付金などにとどまり、抜本的対策にはほど遠い内容です。

人間らしく働く雇用のルールをつくって賃上げと安定雇用を生み出すことをはじめ、暮らしを支え人間の尊厳を守る社会保障の実現、環太平洋連携協定（TPP）交渉から脱退し、農林水産業と中小企業の振興こそ必要です。

国民犠牲の再来

社会保障について安倍政権は、高齢化などによる「自然増」さえ削り込む方針です。小泉「改革」路線で社会保障を毎年2200億円も削減し、「医療崩壊」を招いた国民犠牲の暴走の再来です。

医療では、後期高齢者医療で850万人が受ける保険料の特例軽減を廃止し、現役世代には入院給食費の負担増など“老いも若きも負担増”を押し付けようとしています。

年金も、物価が上がっても年金水準を切り下げる「マクロ経済スライド」を物価下落時にも発動して向こう30年間にわたって切り下げることや、支給開始年齢のさらなる延長をねらっています。

介護保険では「要支援者」サービスの市町村移行が4月から始まり、介護報酬の削減もねらわれています。サービスを受けられない「介護難民」を増やし、介護職員には待遇悪化をもたらすだけです。生活保護も生活扶助費の削減に続いて住宅扶助、冬季加算の削減がねらわれています。

憲法が定める生存権を保障する国の責任を投げ捨て、社会保障を1世紀以上も前の救貧政策に逆戻りさせる「亡国の政治」です。

待機児解消を掲げた子ども・子育て制度が4月から始まります。しかし、国・自治体の責任を後退させ、営利化を進めるもとで、保育所の整備は進まず、待機児解消が進まない矛盾に陥っています。

教育をめぐるのは、「愛国心」などの価値観を押し付ける「道徳の教科化」の推進や、競争主義に拍車をかける「中高一貫教育」の制度化などがねらわれます。「戦争する国」づくりと大企業のための人材育成です。国連の子どもの権利委員会

から「子どもの発達をゆがめている」とまで指摘される競争主義に拍車をかけるだけです。

地方破壊の政策

安倍内閣は、いつせい地方選を前に「地方創生」の名で、人口減少の克服や「東京一極集中」是正を掲げた政策を打ち出しました。

しかし、その中身は大企業のための規制緩和や社会保障の切り捨てをすすめ、新たな市町村再編と「道州制」に向けた都市再編など地域経済の自律的發展や地方自治の拡充に逆行する内容が盛り込まれています。「アベノミクス」で広がる都市と地方の格差をさらに広げるもので矛盾は広がらざるをえません。

全国町村会は「道州制」について、「大都市圏への集中を加速し、地域間格差をいつそう拡大する」として厳しく反対しています。

こうした安倍政権の暴走に対して、国民の反撃があらゆる分野で広がっています。

年金削減には12万6千人が不服審査を請求し、生活保護削減にも不服審査・異議申し立てが広がっています。介護報酬削減には自民党の支持基盤からも反対の声が上がり、老人保健施設団体の削減反対署名は1カ月で142万人を超えて広がっています。

暴走を許さない国民の共同を広げて安倍政権を包囲し、政治を転換させていくたたかいが求められています。

社会保障の主な改悪メニュー

《医療》

- ▽後期高齢者医療の保険料値上げ
- ▽入院給食負担値上げ
- ▽協会けんぽの保険料値上げ
- ▽市町村国保の都道府県単位化で保険料値上げ、徴収強化

▽紹介状なしで大病院受診の窓口負担引き上げ

《年金》

- ▽「マクロ経済スライド」実施。物価下落時にも実施可能に
- ▽支給開始年齢の先延ばし

《年金課税の強化

《介護》

- ▽介護報酬の削減（財務省は6%削減案）

▽特養老人ホームの相部屋入所者からの居住費徴収

《生活保護》

- ▽住宅扶助の引き下げ
- ▽冬季加算の引き下げ
- 2015年1月3日（土）

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぼる

しんぶん 赤旗

日刊月 3497円
日曜版 823円

2015.01.06 NO.691

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
（事務局）池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

今年もよろしくお 願いします

今年のお正月は喪中でゆつくりさせていただき
ました。心なしか、注連
飾りをつけている車も少
なかったように思いまし
た。

寺田町政の三期目が始
まりました。この八年間
で本町のサービスは県下
で最低になりました。

子ども医療費助成制度
は、県下で最低の通院は
就学前まで（自働償還）、
入院は中学校卒業まで
（償還払い）です。

高齢者インフルエンザ
予防接種の自己負担額は
一五〇〇円です。無料の
自治体もあり、多くの自
治体は一〇〇〇円です。
高齢者肺炎球菌予防接種
が一〇月から始まりまし
た。しかし、「ほんの数

か月誕生日が早かっただ
けで、予防接種の補助を
受けることができへんのは
おかしい！」という声
を伺っています。

お隣の川西町では、国
が制度化するまでに高齢
者肺炎球菌ワクチン接種
費用助成事業を実施して
おられましたので、数か
月誕生日が早かった場合
は、「町の制度をご利用
ください」と案内されて
います。町民の健康をど
のように護るのか？を考
える町と、考えない町の
違いです。今年は、町民
の健康に責任を負う町に
変えていきたいと思いま
す。みなさんのご協力お
願いしま

田原本議
会議員
吉田容工



頒春

今年の年越しは結構冷
えましたが、どなた様も
健やかな新春をお迎えの
事とお喜び申し上げます。
我々が住んでいます太平
洋岸は、おかげさんで雪
がちらつく程度でしたん
で何とも有りませんでし
たが、日本海沿岸は何処
とも警戒が必要な大雪の
ようで、これから先も心
配されますが、大事に至
らんことを願うばかりで
す。

さて、今年はどうな年
にとお考えでしょうか？
やっぱり景気の底上げに
消費税の引き上げ中止、
平和と安全の確保、老後
の心配解消、脱原発等々
でしょうか。私は、町レ
ベルで出来る事としての
地域の活性化策に、住民
の住宅リフォームに対す
る町の支援策の実施と企

業の規模に関係無く住民
を雇用した事業者への奨
励策、太陽光等の再生可
能エネルギーの普及策等々
を一貫して提唱している
んです。何れもまだ途上
でして、直ぐには陽の目
を見る状況には有りませ
んが、雇用策で少しは前
進しています。

今後、川西町では駅前
周辺整備を中心に多額の
財政出動が予定される時
期に有りますので、財政
運営においては財政出動
の視点を、町として暮ら
しを応援することから外
す事のないよう、議論の
基本に据えて行きたいと
思います。

今年もどうぞ宜しくお
願いいたし
ます。

川西町議会
議員
芝和也



選挙の年

新年あけましておめで
とうございます。今年も
よろしく願います。
昨年12月に衆議院選
挙が行われ、「大義のな
い選挙」などと言われ、
結果は日本共産党だけが
2・6倍に躍進した選挙
でした。自民党は、33
%の得票で議席だけは3
00を超える議席を得ま
したが、公明党を合わせ
現状維持という状態でし
た。他の党も議席を増や
した政党がありました。得
票を大きく減らしてい
ます。

今年は、4年に一度の
統一地方選挙が行われま
す。奈良新聞も県議会選
挙の予想なども掲載され
ています。三宅町議会も
選挙の年になります。定
数10に対して11名程
度が名乗りを上げ、しの
ぎを削る戦いになる模様

です。

三宅町では、京奈和自
動車道路の三宅インター
の開通が春に行われ、国
道24号バイパスも同時
に開通されることになり
ます。開通によって車の
流れが変わるのではない
でしょうか。三宅町とし
ても、平成30年度、石
見駅周辺整備に向けて青
写真の作成などが行われ
る予定。住民の意見を組
み入れた整備が求められ
ます。

昨年末に第3次基本構
想が発表されていますが、
住民が安心して住み続け
られるような街にしてい
くために、安倍政権の
地方破壊の政治から住民
の生活を守る町政にして
いくために
私は頑張
ります。
三宅町
池田年夫



元日によせて

新年 明けましておめ
でとうございます。昨年
中は公私ともにお世話に
なりました。今年もどう
ぞ宜しくお願いします。
元日は大晦日と打って
変って寒い日でしたね。
皆さんはどんなお正月を
過ごされましたか？我が
家は例年のごとく、長男
一家五人が新年の挨拶に
訪れ、賑やか過ぎる（？）
程のお正月でした。

3才から小5までの3
人の孫娘は真っ先にベッ
トの下のおもちや箱を引
張り出し、遊び始めます。
いつも同じ物では飽きる
と思い、先日簡単なパズ
ルを買っておいてやった
ところ、案の定「あつ、
パズルや！」と驚きの声
が上がりました。

小学生の姉達は以前来
た時に作った紙の冠でお
姫様ごっこに発展。とこ
ろが3才の孫は遊びに熱
中し、ちよつとわらし・。
大慌てで天理のイオンに
着替えを買いに走るとい
うハプニングも。
他市に住んでいる孫に
は少し難しいかなと思い
ながらも炬燵に「田原本
ふるさとかるた」を広げ
てやり始めると、流石我
が家の近くの「唐古 鍵
遺跡」のカードには素早
く手が伸びていました。
春になれば本町の子ど
も達も卒業、入学という
節目を迎えます。どの子
も皆んな健やかに育つて
欲しいと願う元日でした。
田原本議会
議員
森 良子

